

水道配管図作成要綱

平成19年7月

大津市企業局

目 次

I 総 則	1
1 目 的	1
2 適用範囲	1
3 用語の定義	1
4 竣工図及び付属設備台帳等の種類	2
5 竣工図等フローチャート	3
II 配水管工事	4
1 竣 工 図	4
(1) 竣工図の大きさ	4
(2) 用 紙	4
(3) 記入方法	4
(4) 文 字	4
(5) 構 成	4
(6) 平 面 図	5
(7) 断 面 図	13
(8) 詳 細 図	14
(9) 位 置 図	14
(10) 標 題 欄	15
2 付属設備台帳	16
3 提出部数	16
附 則	17
付 録	18

I 総 則

1 目 的

この要綱は、取水管、導水管、送水管及び配水管（以下「配水管等」という。）の工事の竣工図、台帳類等の円滑な作成を目的とする。

2 適用範囲

この要綱は、配水管等の工事の竣工図、台帳類等の作成に適用する。
なお、設計図の作成についても、この要綱を基本とする。

3 用語の定義

この要綱で用いる用語は、次に定めるところによる。

配水管：不特定多数の者に給水するため、配水池等から、公道、私道及び団地内道路等に設けられた管路をいい、原則として本局の費用で建設、所有、維持及び管理されているものをいう。

給水装置：特定の者に給水するため、配水管から分岐して設けられた給水管及びこれに直結する給水用具をいい、専用給水装置、共用給水装置及び私設消火栓の3種とし、工事申込者の費用で建設し、所有者、代理人又は使用者により維持管理されているものをいう。

引込管：配水管（本管）から分岐しメーターまでの給水管をいう。

防食設備：流電陽極、ボンド、排流用端子、測定用端子、短絡用端子、絶縁継手端子をいう。

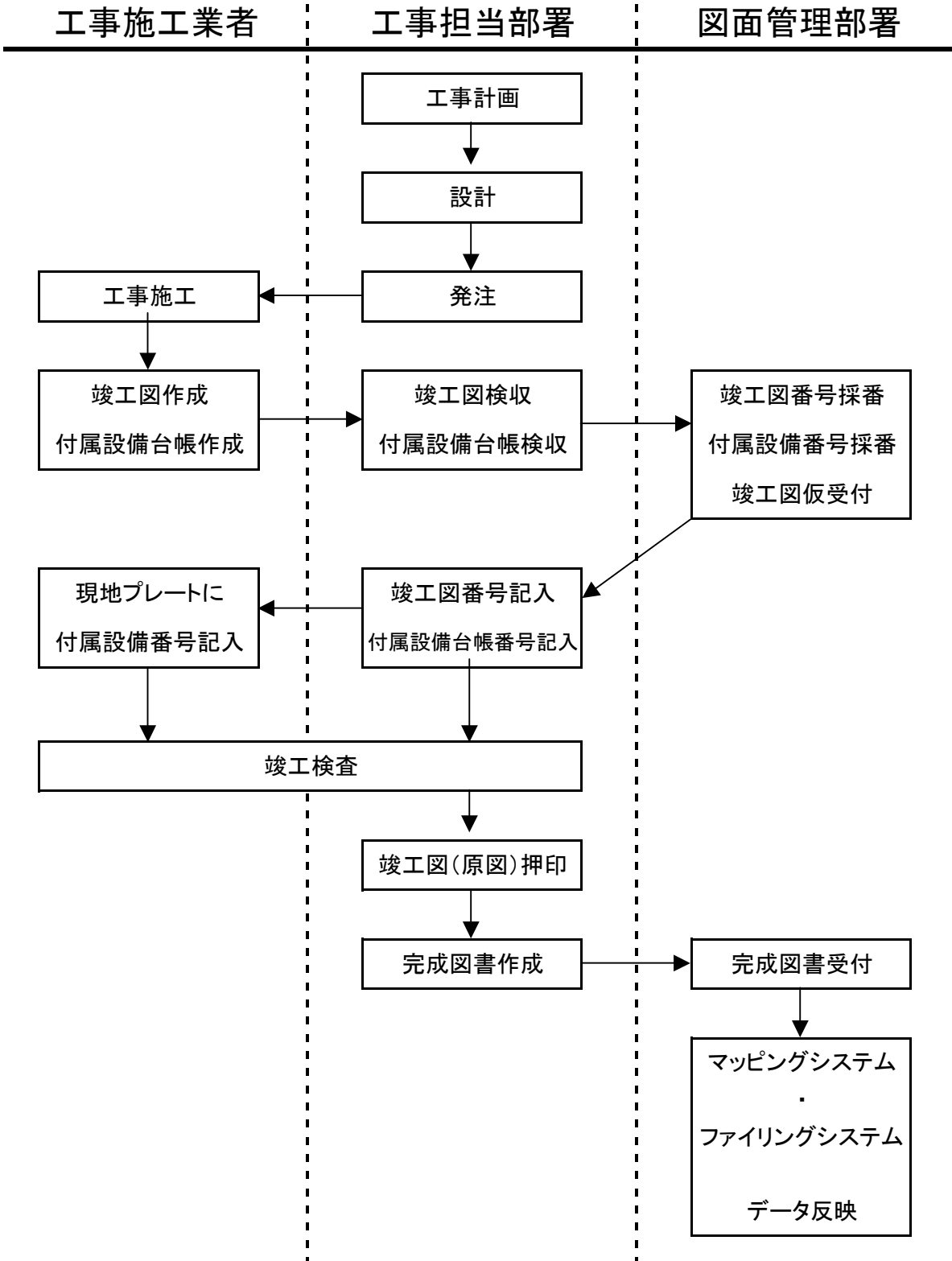
4 竣工図及び付属設備台帳等の種類

種 類	サイズ	対 象 施 設	対 象 工 種
竣工図	A1・A2・A3	配水管等	新設・変更・更新・廃止
配管情報図	A3	配水管等	変更・更新・廃止
引込管台帳	A4	配水管～メーター	新設・変更・更新
制水弁台帳	〃	仕切弁等	〃
泥吐弁台帳	〃	泥吐弁	〃
逆止弁台帳	〃	逆止弁	〃
減圧弁台帳	〃	減圧弁	〃
空気弁台帳	〃	空気弁	〃
消火栓台帳	〃	消火栓	〃
貯水槽台帳	〃	貯水槽	〃
防食設備台帳	〃	防食設備	〃
架管台帳	〃	架管	〃

備 考 : ①配水管の修理及び移設等で、20m未満の場合は、A3サイズの配管情報図に記入する。

②引込管の修理で施設情報に変更があった場合は引込管台帳を作成する。

5 竣工図等フローチャート



II 配水管工事

1 竣工図

(1) 竣工図の大きさ

竣工図に用いる紙の大きさは、A1、A2又はA3とする。

(2) 用 紙

竣工図に用いる紙は、普通紙とする。

(3) 記入方法

竣工図作成は、原則として墨入れ仕上げとする。但し、やむを得ない場合は、鉛筆等で記入し線や文字にカスレ等が無いこととすると共に、線や文字の濃度を一定にする。

(4) 文 字

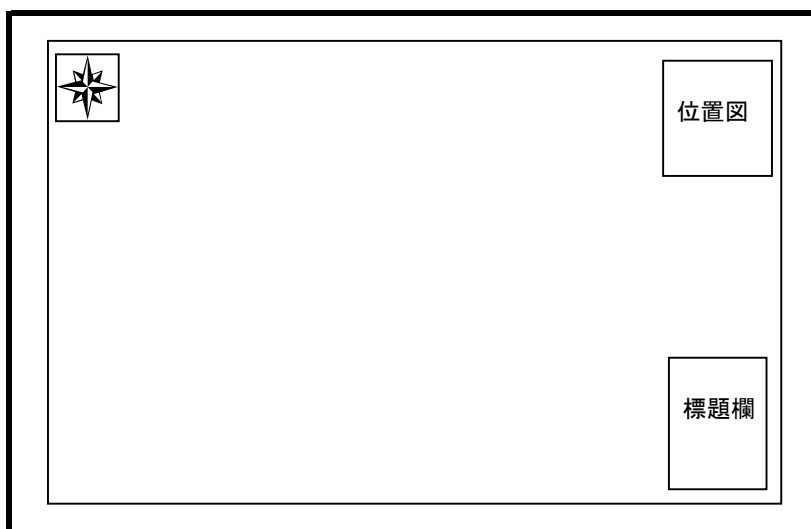
文字の大きさは、次による。

文字の種類	文字の大きさ
漢 字	5.0mm以上
ア ラ ビ ア 数 字	3.2mm以上
か な	
ロ ー マ 字	

(5) 構 成

竣工図の構成は、平面図、断面図、詳細図等とする。

各図面には標題欄を設けるとともに、平面図には位置図を表示する。



(6) 平面図

ア 尺度

平面図の尺度は、原則として1/250、1/500を使用する。

イ 地形図

(ア) 地形図は、原則として大津市が所有する大津市現況平面図又は大津市マッピング現況平面図を使用する。

(イ) 方位は、原則として、北を図面の上方とし、左上隅に必ず記載する。



(ウ) 作成範囲は、工事の起点、終点から各々20m程度まで記載する。

(エ) 地形の表示は、布設道路の境界から各々10m程度の奥行きとし、次表を参考に作成する。

名称	表示	名称	表示	名称	表示
家屋		コンクリート擁壁		郵便局	
道路側路溝		石垣		墓地	
歩道		門		果樹園	
河川		階段		独立樹	
橋部		官民境杭		広葉樹林	
道路の切土部		ブロック塀		針葉樹林	
道路の盛土部		池・湖		竹林	
軌道		学校		草地	
鉄道(複線)		神社		水田	
境界線		仏閣		畑	

(オ) 記載事項

A 埋設道路の状況

① 道路形態

・歩車道区分、道路幅員、その他

② 主要設備

・歩車橋、植樹帯、分離帯、側溝、土地擁壁、その他

③ 道路管理者(路線名)、河川管理者(河川名)の区分

④ 特殊構造

・橋梁、トンネル、その他

⑤ 地下埋設物

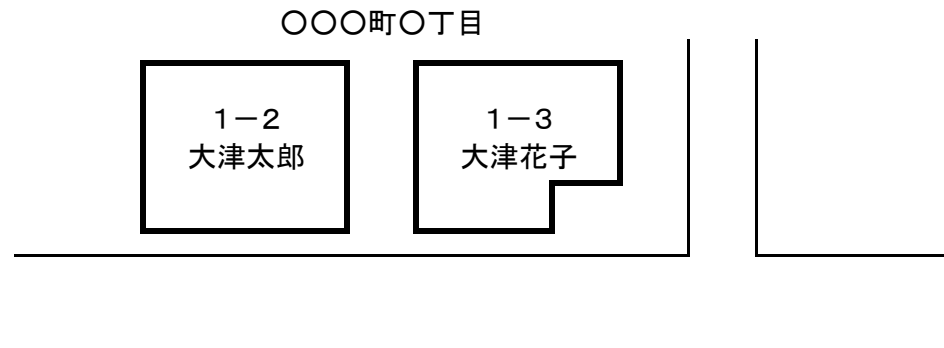
・マンホール等の地下設置物

B 沿道の状況

① 建物の状況

・道路境界より10m以上とし、全周表示とする。

② 住居表示及び氏名



③ 地形の状況

・河川、池、田畑、森林、その他

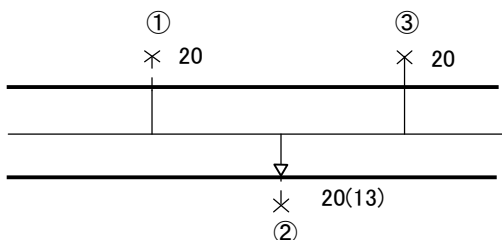
(カ) その他

開発事業等で計画平面図を利用する場合は、利用図面の名称を図面内に記入する。

ウ 配管図

(ア) 配水管等又は給水管は、次の精度で地形図へ記入する。

縮 尺	1/250	1/500	1/1000
平面位置	±2.00以内	±1.00以内	±0.50以内 (mm)



- ・給水管の呼び径を表示する。既設管に接続した場合は、カッコ内に既設管の口径も記入する。
- ・必要により工事内連番をつける。

(イ) 記載は、墨入れ仕上げを原則とし、次により表示する。

新設管		実線
既設管		一点鎖線
埋設管		実線に斜線3本
その他埋設管		点線(細)

接続		
交差		上越
分岐		

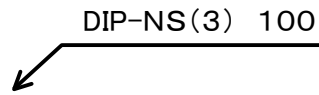
(ウ) 配水管等の管種・接合方法を次により表示する。

管種	ACP	石綿セメント管
	CIP	鑄鉄管
	DIP	ダクタイル鑄鉄管
	GP	亜鉛メッキ鋼管
	SP	塗覆装鋼管
	SGP-VA	硬質塩化ビニルライニング鋼管 A

管 種	SGP-VB	硬質塩化ビニルライニング鋼管 B
	SGP-VC	硬質塩化ビニルライニング鋼管 C
	SGP-VD	硬質塩化ビニルライニング鋼管 D
	NCP	ナイロン12コート鋼管
	SUS	ステンレス鋼管
	VP	硬質塩化ビニル管
	HIVP	耐衝撃性ビニル管
	LP	鉛管
	PP	ポリエチレン管
	PE	配水用ポリエチレン管
接 合 方 法	カラー	カラー継手
	IN	印ろう型
	F	フランジ
	K	K形接合
	A	A形接合
	T	T形接合
	U	U形接合
	KF	KF形接合
	UF	UF形接合
	S II	S II 形接合
	S	S形接合
	US	US形接合
	PN	PN形接合
NS	NS形接合	

接 合 方 法	W	溶接
	R	ねじ
	TS	TS接合
	RR	RR接合
	EF	エレクトロフュージョン


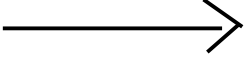

表示例)





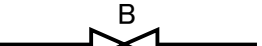


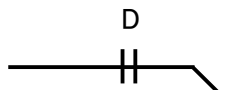
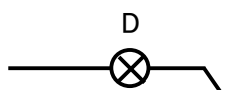
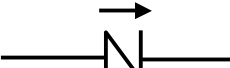
(エ) 配水管の接合表示を次により記入する。

	項目	記号	記入上の要点
鑄 鉄 管	カ ラ ー		・石綿管用鑄鉄継手を含む。
	印 ろ う 型		
	フ ラ ン ジ		GFの場合
	K 形 接 合		特押し使用の場合
	A 形 接 合		
	U 形 接 合		
	K F 形 接 合		
	U F 形 接 合		
	S II 形 接 合		
	S 形 接 合		

項目		記号	記入上の要点
鑄鉄管	U S 形 接 合		
	P N 形 接 合		・パイプインパイプ時に使用
	N S 接 合		ライナー挿入時
鋼管	溶 接		
			・切合わせ箇所は、角度を記入
	ね じ		
ビニール管	T S 接 合		
	R R 形 接 合		離脱防止金具付の場合
ポリエチレン管	E F 接 合		
	EFソケット		
	エルボ		
	エルボ		・45°
	チーズ		

項目	記号	記入上の要点	
ポリエチレン管	レギュレーター		
	EFキャップ		
	EFサドル		

(オ) 付属設備を次により記入する。

項目	記号	記入上の要点
制水弁	仕切弁 又は 	・ソフトシール仕切弁含む
	スリース弁 	・スリースバルブ
	バタフライ弁 又は 	
	玉形弁 	・ストップバルブ(流水方向記入)
	ストッパー弁 (不断水簡易弁) 	
泥吐弁	仕切弁 	
	玉形弁 	・ストップバルブ
逆止弁	全種類 	・流方向を矢印で記入

項目		記号	記入上の要点
減圧弁	全種類		・減圧方向を矢印で記入
空気弁	単口		
空気弁	双口		
消火栓	単口		
消火栓	双口		
	空気弁付消火栓		補修弁付
防食施設	流電陽極		・種類×本数を記入 マグネ Mg アルミ Al

(カ) 特殊配管部を次により記入する。

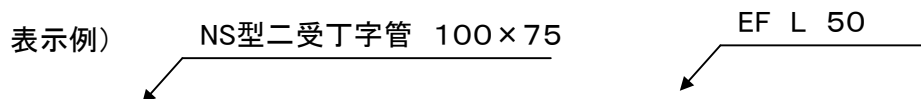
項目	記号	記入上の要点
架管		
伏越管		 ・他構造物との離隔寸法を記入
さや管		・さや管種類、管径、延長を記入 例)HP 800×10.00

(キ) 使用材料の表示

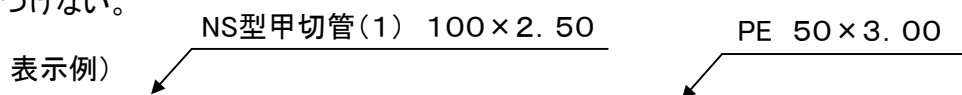
A 名称は、次により表示し、略記号はなるべく用いない。

設計図	竣工図
規格、コード表等の名称を使用し、原則として商品名は使用しない。	設計図の名称を使用し、メーカーにより名称等が異なる場合は、商品名を表示する。

B 口径は、呼び径をmm単位で表示する。数値だけ書き、単位記号はつけない。



C 寸法、延長は、m単位で記入し、小数第2位まで表示する。数値だけを記入し、単位記号はつけない。

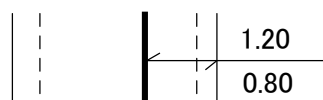


(ク) 埋設位置の表示

A 管の寄り及び深さは、m単位で記入し、小数第2位まで表示する。

B 寄り寸法は、配水管から官民境界(側溝等の外側)、又はブロック塀、石垣等までの距離とする。

C 上段は寄り、下段は深さとし、寸法の表示は、通常50mに1箇所とする。



D 道路形態(幅員、歩車道の有無等)の変更、切回し、上下越し部分等の場合には、変化点とその前後2箇所に寄り及び深さの寸法表示を行う。

E 工事の起点及び終点、付属設備類、道路交差点や曲線部分の管路位置、分岐箇所等については、構築物からの三点引索法により寸法表示を行う。ただし、平面図上で表示し難い場合は、詳細図又は付属設備台帳等によるものとする。

(7) 断面図

ア 横断面図

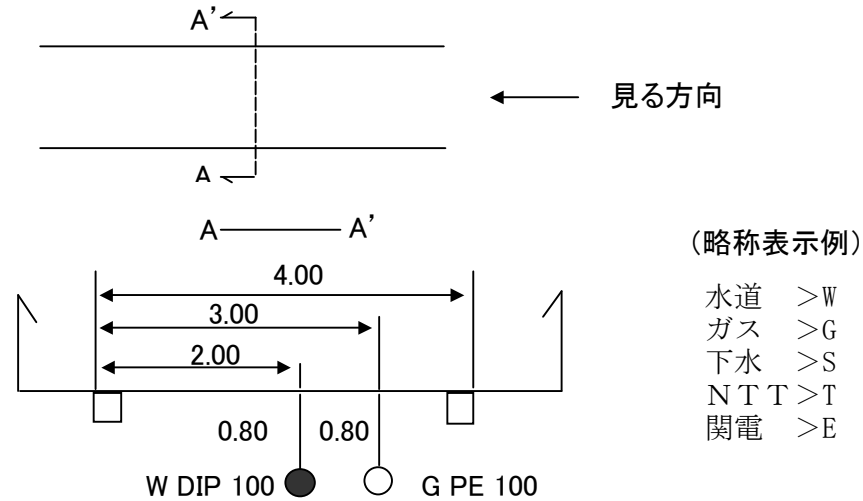
(ア) 尺度

横断面図の縮尺は、原則として、次のとおりとする。

区分	種類
縮尺	1/20、 1/50、 1/100

(イ) 埋設道路の状況

平面図に当該横断図の位置を実線で記入し、両端に断面を見る方向を示す矢印をつけ、道路付帯物(側溝等)を起点として、道路幅員、寄り、深さの寸法をm単位で記入し、少数第2位まで表示する。



(ウ) 沿道の状況

平面図に図示した状況を記載する。

イ 縦断図

(ア) 縦断図の縮尺は、原則として、縦は1/100、横は平面図の縮尺とする。

(イ) 局が図示した測定点以外に重要な変化点がある場合には、追加図示すること。また、追加測点は必ず平面図に図示する。

(8) 詳細図

次に例示する事項については、詳細図を作成する。

ア 付属設備

イ 既設管接続箇所

ウ 分岐箇所

エ 異形管使用箇所

オ 河川、軌道等の横断箇所

カ 他埋設物との交差箇所

キ 道路交差点で埋設情報が繁雑になる箇所

(9) 位置図

ア 位置図は八切り(15cm×10cm)程度の大きさで、工事場所を特定出来る縮尺(1/5000程度)で作成する。

イ 方位は、北を真上とする。

ウ 工事場所が特定出来るよう、工事場所を明示する。

(10) 標題欄

標題欄は、次のとおりとする。

工事名				
工事場所				
設計 竣工 年月日	年		月 日	
図面名	設計図・竣工図	尺度		
用紙サイズ		全	枚の内	枚目
図面名称				
工事担当課	大津市企業局			
課長	課長補佐	係長	合議	担当者
施工業者名				
代表者	現場代理人	製図者		
図面番号			整理番号	

ア 尺度

平面図の尺度を表示する。ほかの異なった尺度を用いた図を含む場合には、その図の近くに適用した尺度を表示する。

イ 用紙サイズ

用紙の大きさの呼びを表示する。

ウ 図面名称

図面名称は、平面図、詳細図、横断図等の図面名を記入する。

(例)

図面名称	平面図、詳細図、横断図
------	-------------

エ 図面番号・整理番号

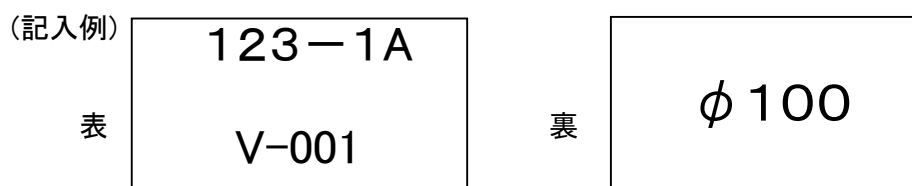
整理番号は、工事毎に定める。図面番号については、複数の図面にまたがる場合1工事において最も施工延長が長い図面番号とする。

図面番号			整理番号
116	5	E	12

市域図No. ↑ ↑ ↑ メッシュNo.

2 付属設備台帳

- (1) 台帳は新たに付属設備等を設置したとき、既設付属設備等を取替えたとき、その他必要に応じて1設備に1枚作成する。
- (2) 台帳は別記様式によるものとする。
- (3) 図面番号は、付属設備の設置場所、引込管は配水管の分岐位置とする。
- (4) 台帳の位置図は、1/1500～1/5000程度とし、平面図は、なるべく大津市マッピング現況平面図を使用し、設置場所を明示する。
- (5) なるべく大津市マッピング現況平面図に記載している構造物等の目標点から三点取りを行い、距離を記入する。距離は、m単位で記入し、少数第2位まで表示する。数値だけを記入し単位記号はつけない。目標点が容易に判るよう、必要に応じて目標点の拡大を記入する。計測基点については、プロテクタ類は中心点、電柱等は側面とする。
- (6) 平面図の方位は、北を真上とする。
- (7) 設備番号を記入したプレートはBOX内に取り付ける。



3 提出部数

- (1) 竣工図 1部
- (2) 付属設備台帳 1設備につき1枚
- (3) 完成図書等調書及び付属書類(工事施工課担当職員が記入)

付 則

- 1 この要綱は、平成元年4月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成6年3月1日から施行する。
- 3 この要綱は、平成9年4月1日から施行する。
- 4 この要綱は、平成10年5月1日から施行する。
- 5 この要綱は、平成19年7月1日から施行する。

付 録

付 録 目 次

様式 1	完成図書等調書	20
様式 2	引込管台帳	21
様式 3	制水弁台帳	22
様式 4	泥吐弁台帳	23
様式 5	逆止弁台帳	24
様式 6	減圧弁台帳	25
様式 7	空気弁台帳	26
様式 8	消火栓台帳	27
様式 9	貯水槽台帳	28
様式 10	防食設備台帳	29
様式 11	架管台帳	30
様式 12	配管情報図	31


様式1

水道 完成図書等調書

竣工図 番号	— —				全	枚
工事名				工事場所		
延長	全	m		竣工日	西暦	年 月 日
担当課			担当者			施行業者
事業区分	・上水道 ・簡易水道		休止区分	・供用 ・休止 ・その他()		
	チェック覧	提出書類				
占用 関係		・別紙道路・河川・歩車道区分詳細図のとおり				「竣工図コピー(A3)紙に記入」
		・占用許可番号・占用期間は		・許可書写しのとおり		「竣工図コピー(A3)紙に記入」
		・市道 ・県道 ・国道 ・里道 ・私道() ・その他()				
		・有り・無し	・土地使用承諾書			
引込 管	布設台帳	・有り・無し	全()本 = 投出し()本 + 切替()本			
	廃止	・有り・無し	・別紙マップ図等色塗りのとおり			全()本
台帳 類	設置	・有り・無し	()個所			
	廃止	・有り・無し	・別紙マップ図等色塗りのとおり			全()個所
メモ						
受付番号						
ファイリング入力		担当		マップ入力		担当
/				/		

水道引込管台帳

様式2

図面番号				住 所		水栓番号			
竣工図番号	—	—		氏 名		ご使用番号	—		
図面内番号				課担当者名		竣工年月日	20 年 月 日		
				断 面 図				平 面 図	
				立 面 図					
管種・口径		接合方法		道路種別		占用先		給水方式	
						施工業者名		資格者名	

様式3

水道 制水弁台帳

平面図(三点取り) <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	図面番号				バルブ口径	mm
	設備番号	V —			系統フラグ	・有り ・無し
	竣工図番号	— —			竣工年月日	西暦 年 月 日
	設置場所	町 番地			道路種別	・市道 ・県道 ・国道 ・里道 ・私道 ・他()
	商品名称	丁目 番 号			歩車道別	・歩道 ・車道 ・その他 ・不明、未分類
	製造業者				回転方向	・左開き ・右開き ・他()
	製造年	西暦		年	バルブ開度	・全開 ・全閉 ・1/4開 ・1/8開 ・他()
	プロテクタ名称				設置形態	・直埋 ・人孔 ・露出 ・架空 ・他()
	管区分	・配水 ・取水 ・導水 ・送水 ・給水 ・他()			プロテクタ呼径	・マル24 ・マル25 ・マル32 ・マル35 ・他()
	種類	・仕切弁 ・ストップ弁 ・パタフライ弁 ・ストッパー弁 ・スリース弁 ・他()			起工理由	・新設 ・変更 ・ボックスのみ ・その他()
詳細図(立面図)					施工業者	
					担当者	
					メモ	

*継足ロッドを使用した場合は図示すること。

様式4

水道 泥吐弁台帳

平面図(三点取り)



詳細図(立面図)

図面番				
設備番号	D —			
竣工図番号	—	—		
設置場所	丁目	町番	番地	号
商品名称				
製造業者				
製造年	西暦			年
種類	・仕切弁 ・スリース弁 ・ストップ弁 ・他()			
バルブ口径	mm			
竣工年月日	西暦	年	月	日
道路種別	・市道 ・県道 ・国道 ・里道 ・私道 ・他()			
歩車道別	・歩道 ・車道 ・その他 ・不明、未分類			
回転方向	・左開き ・右開き ・他()			
プロテクタ呼径	・マル24 ・マル25 ・マル32 ・マル35 ・他()			
プロテクタ名称				
施工業者				
担当者				
メモ				

水道 逆止弁台帳

平面図(三点取り)



図番	面号			
設備番号	C —			
竣工図番号	— —			
設置場所	丁目		町番	番地号
商品名称				
製造業者				
製造年	西暦		年	
種類	・スイング ・リフト ・バタフライ ・他()			
逆止弁口径	mm			
竣工年月日	西暦		年	月 日
道路種別	・市道 ・県道 ・国道 ・里道 ・私道 ・他()			
歩車道別	・歩道 ・車道 ・その他 ・不明、未分類 ()			
プロテクタ呼径	・カク(cm×) ・マル(cm) ・他()			
プロテクタ名称				
起工理由	・新設 ・変更 ・ボックスのみ ・その他()			
施工業者				
担当者				
担当者名				
メモ				

詳細図(立面図)

水道 減圧弁台帳

平面図(三点取り)



詳細図(立面図)

図面番				
設備番号	R —			
竣工図番号	— —			
設置場所	町 番地 丁目 番 号			
商品名称				
製造業者				
製造年	西暦			年
種類	・直動ピストン ・直動ダイヤフラム ・パイロットピストン ・パイロットダイヤフラム ・他()			
減圧弁口径				mm
設定圧	一次		二次	
		Mpa		Mpa
竣工年月日	西暦	年	月	日
道路種別	・市道 ・県道 ・国道 ・里道 ・私道 ・他()			
歩車道別	・歩道 ・車道 ・その他 ・不明、未分類 ()			
プロテクタ呼径	・カク(cm×) ・マル(cm) ・他()			
プロテクタ名称				
ストレーナー	・有り ・無し	バイパス	・有り ・無し	
起工理由	・新設 ・変更 ・ボックスのみ ・他()			
施工業者				
担当者名				
メモ				

水道 空気弁台帳

平面図(三点取り)



図面番				
設備番	A —			
竣工図番	—	—		
設置場所	丁目	町番	番地	号
商品名称				
製造業者				
製造年	西暦			年
種類	・急速 ・単口 ・双口 ・凍結防止 ・他()			
空気弁口径	mm			
竣工年月日	西暦			年 月 日
道路種別	・市道 ・県道 ・国道 ・里道 ・私道 ・他()			
歩車道別	・歩道 ・車道 ・その他 ・不明、未分類)			
プロテクタ呼径	・カク(35×45) ・マル() ・他()			
プロテクタ名称				
設置形態	・直埋 ・人孔 ・露出 ・架空 ・他()			
施工業者				
担当者				
メモ				

詳細図(立面図)

水道

消火栓台帳

平面図(三点取り)



図番	面号			
設備番号	H —			
竣工図番号	—	—		
設置場所	丁目	町番	番地	号
商品名称				
製造業者				
製造年	西暦			年
種類	・単口 ・双口 ・空気弁付 ・他()			
消火栓口径	mm			
補修弁有無	・無し ・有り			
竣工年月日	西暦 年 月 日			
道路種別	・市道 ・県道 ・国道 ・里道 ・私道 ・他()			
歩車道別	・歩道 ・車道 ・その他 ・不明、未分類			
プロテクタ呼径	・カク(35×45) ・カク(47×67) ・他()			
回転方向	・左開 ・右開 ・他()			
プロテクタ名称				
設置形態	・人孔 ・直埋 ・露出 ・架空 ・他()			
起工理由	・新設 ・変更 ・ボックスのみ ・他()			
施工業者				
担当者				

詳細図(立面図)

水道

貯水槽台帳

平面図(三点取り)



図面番	面号			
設備番	受	—		
設置場所	町	番地		
	丁目	番	号	
水栓番号	代表			
使用番号	代表台帳	カード		
	・外部地下	・外部地上	・他()	
顧客名				
建物名	・外部地下	・外部地上	・他()	
貯水槽構造	・鉄筋コンクリート	・鋼板	・ステンレス鋼板	
	・強化プラスチック	・他()		
高置槽構造	・鉄筋コンクリート	・鋼板	・ステンレス鋼板	
	・強化プラスチック	・他()		
受水槽設置数				
高置槽設置数				
貯水槽容量				
高置槽容量				
竣工年月日	西暦	年	月	日
受水槽設置形	・建物内部	・建物屋上	・建物地下	
高置槽設置形	・建物内部	・建物屋上	・建物地下	
受水槽所有者				
受水槽管理者				
管理者氏名				
管理者住所				
管理者TEL				

詳細図(立面図)

水道

防食設備台帳

平面図(三点取り)




図面番			
設備番号	T —		
竣工図番号	— —		
設置場所	丁目	町番	番地号
商品名称			
製造業者			
製造年	西暦		年
管区分	・配水 ・取水 ・導水 ・送水 ・給水 ・他()		
設備種類	・流電 ・ボンド ・排流 ・測定 ・短絡 ・絶縁 ・他()		
防食措置	・未防食 ・絶縁 ・流電 ・絶縁+流電 ・電気防食法() ・その他 ・不明、未防食		
竣工年月日	西暦	年	月 日
道路種別	・市道 ・県道 ・国道 ・里道 ・私道 ・他()		
歩車道別	・歩道 ・車道 ・その他 ・不明、未分類		
プロテクタ呼径	・カク(cm×) ・マル(cm) ・他()		
プロテクタ名称			
短絡区分	・短絡 ・絶縁 ・ボンド接続 ・測定 ・他()		
起工理由	・新設 ・変更 ・ボックスのみ ・他()		
施工業者			
担当者名			
メモ			

詳細図(立面図)

様式11

水道

架管台帳

平面図(三点取り) <div style="text-align: center;">  </div>	図面番号				河川名		
	設備番号	架 —			空気弁	・無し ・有り	
	竣工図番号	— —			有無	・他()	
	設置場所	町 番地 丁目 番 号			塗 装	西暦 年 月 日	
	管区分	・配水 ・取水 ・導水 ・送水 ・給水 ・排水 ・他()			竣 工	西暦 年 月 日	
	管 種	・NCP ・SUS ・VLP ・DIP ・他()			年 月 日	占 用 先	・市道路管理 ・草津 ・堅田 ・琵琶湖 ・大津土木 ・市河川下水道 ・他()
	接 合 方 法	・溶接 ・ネジ ・フランジ ・NS形 ・K形 ・SII ・他()			許 可		
	口 径	mm		m	占 用	自	西暦 年 月 日
	架 管 形 式	・専用橋 ・共用橋 ・添架管 ・単独橋脚有 ・他()			期 間	至	西暦 年 月 日
	橋 名				占 用 表 示 板	・有り ・無し	
詳細図(立面図)					占 用 延 長		
					架 管 延 長		
					外 面 被 覆	・無し ・ナイロン ・エポキシ ・塩化ビニル ・ポリエチレン ・他()	
					内 面 被 覆	・無し ・ナイロン ・エポキシ ・塩化ビニル ・ポリエチレン ・モルタル ・他()	
					伸 縮 吸 収	・無し ・伸縮継手 ・可とう配管 ・伸縮+可とう ・他()	
					歩 行 防 止 柵	・無し ・有り ・その他()	
					起 工 理 由	・新設 ・改造(一部切替) ・修繕 ・外面塗復装のみ ・他()	
					施 工 者		
					担 当 者 名		
					メ モ		

課長	課長補佐	係長	合議	担当

水道

配管情報図

担当課

平面図	位置図			
立面図・断面図	図面番号			
	設置場所			
	竣工図	西暦	年	月 日
	起工理由	・修繕 ・移設 ・他 ()		
	管口径		管延長	
	管種		接合方法	
	道路区分	・国道 ・県道 ・市道 ・私道		
	占用先			
	事業区分	・上水道 ・簡易水道 ()		
	供給系統			
	作成日	西暦	年	月 日
	施工業者			